

第2回 奈良市八条・大安寺周辺地区まちづくりワーキングの概要

開催日時	令和2年11月19日（木）午後1時30分から午後15時30分まで		
開催場所	はぐくみセンター 3階健康増進室		
出席者	参加者6人（欠席1名） 仲川市長、中村 CIO ゲストスピーカー4人、事務局14人	担当課	都市整備部 JR 新駅周辺整備推進課
開催形態	非公開	(非公開の理由)	奈良市情報公開条例第7条第6号 非公開の具体的な理由等 調査研究に係る事務に関し、市の機関内部における審議であり、公にすることにより、率直な意見の交換、公正かつ能率的な遂行を不当に損なわれるおそれがあるため
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 出席者の紹介 3. 意見交換 4. まとめ 5. 閉会 		
決定又は取り纏め事項	・引き続き、八条・大安寺周辺地区のまちづくりに係わる意見交換を行う		

議事の概要

(この審議会等は、奈良市情報公開条例第29条第2号の規定により非公開とする。)

(1) 意見交換

コンセプト検討について

- ・ 高速道路網（光ファイバー）等を活かした IX（インターネットエクステンジ）、都市型データセンター、IT系企業等の誘致が考えられる
- ・ 短期的には企業誘致が効果的だが、中長期的には新しい産業・起業家を育てる支援環境が重要
- ・ 在宅ではなく、在駅ワーク・シェアオフィス等による副業、起業支援
- ・ 福祉、障がい者に特化したスマートシティ・まちづくりといった視点も考えられる
- ・ 奈良市が有する金属製品製造業等の既存産業、伝統産業の融合という視点も重要
- ・ 産業、住宅等、ゾーニングを徹底しない、複合機能型のまちづくりが持続しやすいまちになっていく
- ・ 子育て環境の充実、若い世代が住みやすいまちづくりも重要
- ・ 教育水準の高いまちという視点も重要
- ・ ドローン等の先端技術を活用した近代的かつ文化を感じられる住みやすいまちづくりも考えられる
- ・ 障がい者も暮らしやすい環境、ユニバーサルデザインへの対応
- ・ 公園等、憩い・自然とのふれあいの場も必要 等